

2012年9月5日

地域の皆様の生活に役立つ 『ユニバーサルデザインマップ』完成

広島国際大学（学長：秋山實利）の学生たちが、東広島キャンパスのある東広島市黒瀬町『ユニバーサルデザインマップ』を作成し、広く地域の皆様にご覧いただけるよう Web 上に掲載しました。

『ユニバーサルデザインマップ』とは、地域に潜む危険な場所や災害時の避難場所だけでなく、生活に必要な病院や飲食店などを分かりやすく明示したマップのことです。心理学部・感性デザイン学科の3名の学生が誰でも簡単に分かりやすく閲覧することのできるものを作成しようと、2011年から取り組んできました。

災害などもしもの時に備えて 学生が行政と連携しながら作成

本プロジェクトの発端となったのは、2011年3月に起こった東北地方太平洋沖地震でした。未曾有の震災により甚大な被害状況が連日のように伝えられる中、学生たちが自分たちに何ができるのか、と考えたのが始まりです。災害時のもしものときに備え、地域住民の方々がいつでも手軽にアクセスでき、役に立つ情報が得られるユニバーサルデザインマップを作成しようと考えました。そこで、Web上に公開するとともに、携帯電話やスマートフォンからもアクセスできるマップを作成することにしました。

制作にあたっては、東広島市黒瀬支所との連携を密に取りながら、地域の皆様から本当に必要とされる情報は何か、どのような掲載方法が効果的なのかなど、いろいろとアドバイスをいただきながら、マップを作成して行きました。

なお、本学では、学生たちが地域社会の人々等とパートナーシップを結んで行う価値ある社会活動を「広島国際大学SSP（Student-Society-Partnership）プログラム」に認定し、助成金を交付して支援しています。昨年度は8事業を認定しており、本件もそのひとつでした。

取材ご希望の方は、以下の取材の申し込み先（東広島キャンパス（東広島市黒瀬学園台））までお申し出ください。

■内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学心理学部 井上勝雄教授 TEL：0823-70-4885

■取材の申し込み先・本件発信部署

広島国際大学 企画課（担当：坂井） TEL：0823-70-4922